

大河原水辺愛護会

豊田市の水辺愛護会
発行：豊田市矢作川研究所
471-0025 豊田市西町2-19
豊田市職員会館1階
2017年5月
Tel.0565-34-6860 担当：吉橋

大河原水辺愛護会は矢作川左岸に位置する豊田市大河原町※の水辺で活動している愛護会です。

かつて会員のみなさんが子どもの頃、矢作川は遊び場でした。水は透明度が高く、5m先でも見えて魚をつかんだり泳いだりして遊んだそうです。町内に店がなかったため、小銭をもって対岸まで泳ぎ、お店でアイスを買ってそれを口にくわえたまま泳いで戻ったという楽しい思い出は、年配の方だけでなく、30代半ばの会員にもあります。

その岸边は人が容易に入れる竹林でした。竹が売れ、竹林に常に人の手が入っていたためです。しかし竹が売れなくなり、竹林には手が入らなくなって竹が密生し、光も差さないような状態になりました。大河原水辺愛護会は2014年からその竹林を伐採し、散策路の維持をしています。活動から4年目に入り、伐採は進みました。ただ、伐採をしてもまた竹は生え、開けた土地には草が勢いよく茂ります。活動地をどこまで整備するか、どのように活用するかが課題です。

※2015年現在、町の人口は96人、29世帯



活動日の様子

2017年5月14日(日) 8:00~11:00



「元気な竹林」を目指して間伐しているエリアの前でパチリ！



伐った竹を二人で斜めに引き出す



伐った竹や木は燃やしたり、管理道脇に置く



川辺の守人 草刈り・竹伐りの勇姿



遊び場だった矢作川の水を頭にかけて熱くなった体を冷やす



作業の合間に一休み
伐った竹がベンチがわり



<大河原水辺愛護会>

結成...2014年4月
会長...月山正己氏
会員...24人
活動日...年に5回
活動地...大河原町地内の矢作川左岸

竹林整備



間伐するところと伐り開くところを分けて考え、段階的に整備



参考：豊田市の水辺愛護会について

自治区の有志で組織（原則1自治区1団体）。市に指定された範囲内において活動を行う（団体数・延べ人数は2016年度、男女比・年代構成は2015年度）

- ・19団体、648人
- ・1団体12人～117人（平均34人）
- ・活動延べ人数：3,343人/年
- ・男性86%、女性14%

活動頻度：月2回程度～年に4回程度まで様々。土日の午前中が多い。

活動内容：河畔の竹木の間伐、草刈り、ゴミひろい、適切な維持管理についての知識向上、積極的な活動人員の確保、など

旧豊田市域の愛護会の活動地面積（14団体）：200,200㎡（平均14,300㎡）

（参考：上流5団体は面積不明。地図上の概算や会員への聴き取りからは、合計約179,000㎡（平均35,800㎡））



全体の年代構成



活動の成果

- ・「ながめ」がよかった
（川面が見られる、河畔林が見通せる。対岸へのながめ、対岸からのながめがよかった。）
- ・川まで辿り着けるようになった
- ・人と人との繋がりが強まった
- ・故郷に自信が持てるようになった など

活動の課題

- ・会の継続性への不安（高齢化と人手不足）
- ・目標、将来像、方向性を考える場が少ない
- ・マンネリ化で「やる気のもと」がない
- ・河畔林の恵みという意味での「見返り」がない
- ・愛護活動は生物の生息環境から見て適正か
- ・地域住民の関心が低い など

